

2025（令和7）年度 教員自己評価

I 学習指導（学習支援）

- 1 学校の教育目標の趣旨を理解し、自ら学び自ら考える力を育む学習指導（学習支援）の実現に向けて、具体的な教育活動を示した年間指導計画の作成に努めている。
A 8% (19%) B 54% (67%) C 38% (15%)
- 2 教育課程のねらいを理解し、系統性や発展性に配慮した一貫性のある指導計画に基づき、充実した教育活動が展開できるように努めている。
A 4% (11%) B 62% (74%) C 35% (15%)
- 3 生徒の学習活動が各教科の基礎・基本の習得にどのようにかわるかを明確にし、指導の順序や重点、教材の精選や開発を考慮して指導に努めている。
A 15% (15%) B 77% (67%) C 8% (19%)
- 4 生徒の実態に応じて、基礎的・基本的な内容が確実に習得できるねらいを明確にした授業計画を作成し、実践に努めている。
A 19% (44%) B 58% (44%) C 23% (11%)
- 5 教材研究にかかわる課題を明確にし、校内における研修会に積極的に参加するなど、自らの資質を高めるとともに、自らの指導力の更なる向上に努めている。
A 5% (15%) B 50% (52%) C 45% (33%)
- 6 学習のねらいにせまる発問や、生徒の心を揺さぶるような発問などを心がけて授業を展開している。
A 23% (22%) B 54% (67%) C 23% (11%)
- 7 常に板書計画を立てながら、日常の授業に臨んでいる。
A 35% (52%) B 50% (33%) C 15% (15%)
- 8 本時のねらいを達成するために、指導のポイントを明確にし、生徒の動きや発問を想定して授業に臨んでいる。
A 19% (37%) B 65% (52%) C 15% (11%)
- 9 生徒一人ひとりの学習状況を把握するとともに、学習の成果だけでなく、過程を重視した授業を実践している。
A 12% (22%) B 58% (63%) C 31% (15%)
- 10 タブレットなどの情報機器の特性を理解し、学習活動の充実化を図るために授業において積極的かつ効果的に活用している。
A 12% (19%) B 20% (33%) C 68% (48%)
- 11 生徒に対してよりきめ細やかな指導を行うために、学習教材を自ら開発するなど、教材の充実に努めている。
A 8% (22%) B 46% (44%) C 46% (33%)
- 12 教務規定を理解するとともに、学習指導要領に示されている評価の観点を踏まえて適切に評価している。
A 15% (41%) B 50% (44%) C 35% (15%)
- 13 授業において、正しい言葉で話し、板書は正確で丁寧に行っている。また、生徒への配布物の用語や文字を適正に使用している。
A 12% (52%) B 62% (33%) C 27% (15%)
- 14 生徒に対して、進んで学習しようとする態度が身につくよう、家庭学習に対する助言や支援に努めている。
A 8% (11%) B 48% (59%) C 44% (30%)
- 15 生徒に対して、学習の目的や学び方の習得を意識した指導を実践し、自ら学ぶ意欲の喚起に努めている。
A 8% (33%) B 54% (52%) C 38% (15%)

Ⅱ 生徒指導（生徒支援）

- 1 校訓や建学の精神を理解し、学校の教育目標（『学校要覧』参照）の具現化に努めている。
A 11% (17%) B 37% (69%) C 52% (14%)
- 2 生徒指導（生徒支援）に関する研究を意欲的に行い、生徒指導（生徒支援）の実践に必要な理論や方法の理解に努めている。
A 7% (10%) B 48% (55%) C 44% (34%)
- 3 生徒たちとの良好な人間関係を構築するとともに、生徒たちからの信頼を得ることに努めている。
A 22% (45%) B 59% (48%) C 19% (7%)
- 4 生徒が学校生活によりよく適応できるよう、一人ひとりの状況を把握し、改善に向けた適切に対応している。
A 12% (34%) B 58% (52%) C 31% (14%)
- 5 生徒一人ひとりの長所を生かし、生徒が将来の生き方を考えることができる教育活動を実践している。
A 12% (24%) B 65% (55%) C 23% (21%)
- 6 生徒の家庭環境や学校生活等に関する状況を積極的に把握しようと努めている。
A 19% (34%) B 58% (48%) C 23% (17%)
- 7 いじめの未然防止や早期発見のために、学校における生徒たちの状況の把握に努めている。
A 15% (41%) B 67% (48%) C 19% (10%)
- 8 不登校の未然防止や早期発見のために、生徒の状況や学級の状況などを把握しようと努めている。
A 19% (28%) B 54% (59%) C 27% (14%)
- 9 不登校生徒やその保護者の不安や悩みに耳を傾け、改善に向けて適切な指導や支援をしている。
A 8% (17%) B 54% (59%) C 38% (24%)
- 10 問題行動の未然防止や早期発見に向けて、学校や家庭における生徒の生活状況を把握しようと努めている。
A 8% (24%) B 69% (69%) C 23% (7%)
- 11 生徒を取り巻く様々な状況を総合的に判断し、生徒及び保護者に対して適切な指導や援助ができています。
A 12% (24%) B 52% (66%) C 36% (10%)
- 12 生徒理解のための様々な手法を用いて、生徒の問題の背景、不安や悩みを把握しようと努めている。
A 15% (34%) B 58% (55%) C 27% (10%)
- 13 生徒の指導に活用するために、記録ノート等を準備し、生徒一人ひとりの生活状況などを記録している。
A 8% (21%) B 38% (41%) C 54% (38%)
- 14 生徒一人ひとりの生活状況などを適切に評価し、日々の生徒指導に活用している。
A 4% (14%) B 72% (62%) C 24% (24%)
- 15 平素より他の教職員との望ましい人間関係の構築に努め、自らいつでも他の教員の支援ができるような心構えをもっている。
A 22% (38%) B 67% (55%) C 11% (7%)

Ⅲ 学級経営

- 1 年次目標とコース目標の関連を図りながら、学級の教育目標や経営案の作成に努めている。
A 20% (26%) B 50% (58%) C 30% (16%)
- 2 具体的でわかりやすい学級目標を設定し、指導方法の工夫や活動の充実を図ろうとしている。
A 16% (21%) B 37% (68%) C 47% (11%)

- 3 生徒一人ひとりに具体的な目標を自己決定させるなど、自己実現に向けて個に応じた指導をきめ細かく実践しようと努めている。
- A 9% (26%) B 35% (63%) C 57% (11%)
- 4 集団活動の意義を理解し、集団において話し合う過程を重視した指導に努めている。
- A 8% (42%) B 50% (53%) C 42% (5%)
- 5 学級経営を計画（P）－実施（D）－評価（S）のサイクルに位置づけ総合的に評価し、改善に努めている。
- A 5% (11%) B 37% (58%) C 58% (32%)
- 6 日常的に温かく受容的な態度で生徒に接し、生徒一人ひとりが発するサインを見逃さないよう気をつけ、信頼関係を構築しよう努めている。
- A 16% (50%) B 64% (38%) C 20% (13%)
- 7 保護者への案内や学級通信・年次通信、成績処理などの学級担任業務を迅速かつ正確に行うよう努めている。
- A 10% (11%) B 45% (74%) C 45% (16%)
- 8 出席簿や指導要録、調査書などの記載・作成について期限を遵守し、正確かつ適切に行うよう努めている。
- A 19% (37%) B 62% (58%) C 19% (5%)
- 9 月や季節、学期等教室に変化をもたらすよう年間を通して計画的に学習環境を整備しようと努めている。
- A 14% (16%) B 23% (58%) C 64% (26%)
- 10 生徒と学級担任が協働して学習環境や生活空間づくりを行い、教室空間が魅力的かつ学習意欲が刺激されるよう工夫に努めている。
- A 16% (26%) B 47% (58%) C 37% (16%)

IV 学校経営

- 1 校務分掌の一員として、担当業務だけでなく分掌内の課題解決に向けて協力し、建設的な提案や発言を積極的に行うよう努めている。
- A 11% (31%) B 63% (52%) C 26% (17%)
- 2 校務分掌内の担当業務について、意義や内容について理解し、前年度の反省をもとに見直し、計画的に業務を遂行し改善しようと努めている。
- A 12% (31%) B 54% (55%) C 35% (14%)
- 3 担当業務の計画・実施にあたって、他の分掌とのかかわりを考慮して実施しようと努めている。
- A 8% (24%) B 62% (59%) C 31% (17%)
- 4 学校の一員として、担当分掌のみならず学校全体にかかわる課題解決に向けて、具体的な提案を積極的に行うよう努めている。
- A 4% (10%) B 65% (48%) C 31% (41%)
- 5 オープンキャンパスなどの企画・運営や『CANPUS GUIDE』などの刊行物の作成など、生徒募集に関する業務に対して、積極的に関与している。
- A 17% (14%) B 42% (59%) C 42% (28%)
- 6 教育目標を具現化するための総合的な教育計画である教育課程の編成に参画しようと努めている。
- A 8% (17%) B 35% (48%) C 58% (34%)

V 家庭・地域との連携

- 1 保護者に対して、年次・コース及び学級における指導の重点が理解されたり、協力が得られたりするような方法や体制づくりの工夫に努めている。
- A 9% (23%) B 18% (58%) C 73% (19%)

- 2 保護者に対して、学級通信や年次通信、家庭訪問や三者面談等によって、可能な限り学校や学級、生徒についての情報を提供している。
- A 10% (38%) B 33% (46%) C 57% (15%)
- 3 生徒の学習や生活面に関する指導について、家庭と緊密な連携を図るために、保護者との信頼関係の構築に努めている。
- A 10% (46%) B 57% (50%) C 33% (4%)
- 4 日常的に生徒の健康・安全に十分配慮し、登下校や校内生活での安全、基本的生活習慣の確立に向け、家庭と緊密に連携し指導に努めている。
- A 19% (38%) B 62% (58%) C 19% (4%)
- 5 校内外の教育活動にかかわる会議や各種大会等の内容について、復命などの報告義務や伝達すべき事項の連絡を適切に行っている。
- A 31% (48%) B 46% (48%) C 23% (3%)

VI 進路指導（進路支援）

- 1 生徒の主体的な進路選択の重要性を十分に理解し、進路ガイダンスの計画・立案や体験的な学習活動に対して積極的に取り組んでいる。
- A 11% (13%) B 53% (67%) C 37% (21%)
- 2 定期的に生徒との進路相談を行うなど継続的な進路指導（進路支援）に努めている。
- A 14% (21%) B 48% (54%) C 38% (25%)
- 3 進路指導（進路支援）に関する必要な情報を収集し、それを効果的に活用しながら、進路指導（進路支援）に取り組んでいる。
- A 14% (21%) B 41% (67%) C 45% (13%)
- 4 進路指導（進路支援）が系統的に展開されるよう指導計画の工夫改善に努めている。
- A 5% (13%) B 38% (46%) C 57% (42%)
- 5 日々の教育活動を通じて進路指導（進路支援）が実践できるよう努めている。
- A 9% (18%) B 61% (71%) C 30% (11%)

VII 総合的な探究の時間および特別活動

- 1 生徒が充実した学校生活を送ることができるように、指導方法や活動内容の工夫に努めている。
- A 8% (29%) B 65% (54%) C 27% (17%)
- 2 生徒の興味や関心を高め、探究に主体的・協働的に取り組むことができる態度を育てている。
- A 8% (17%) B 58% (58%) C 35% (25%)
- 3 生徒一人ひとりが課題意識を大切にするという共通理解にたち、他の教員と協力して指導計画を作成している。
- A 8% (17%) B 35% (67%) C 58% (17%)
- 4 問題解決能力や学び方が生徒に身につくように、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れている。
- A 17% (13%) B 29% (75%) C 54% (13%)

注1) 評価については、以下のとおりとする。

A：十分到達した。 B：概ね到達した。 C：今後努力を要する。

注2) () は、2024（令和6）年度の数値を示す。

注3) 小数第1位は四捨五入している。